

## 大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.6)

### 此花区公害問題対策協議会が現場視察

3月27日(月)及び4月4日(火)に、此花区公害問題対策協議会(栗栖 孝臣 会長)の委員(顧問3名, 常任委員15名)が、大阪PCB廃棄物処理施設(以下「施設」という。)の現場を視察されました。

当日は、2Fプレゼンテーションルームで概要説明のあと、模擬試験物を使って試運転が始まった施設内(西棟の中央制御室・排気処理室・受入検査室・グローブボックスなどの施設や東棟の分析機器室など)を熱心に視察されました。

なお、3月から4月にかけて、大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会(福永 勲 委員長)やPCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会(酒井 伸一 主査)等の委員による現場視察も実施されました。



現場視察(西棟中央制御室)

### 防災訓練の実施

4月12日(金)、PCB試運転物を搬入するにあたり、緊急時に速やかに必要な処置、避難ができるよう此花消防署にご協力頂き防災訓練を行いました。

訓練では施設内でのPCB漏洩と火災を想定し、運転員による漏洩対策、施設内(職員・運転員等)全員の避難、此花消防署の消防隊員による消火活動を行いました。また、消火器の操作講習も合わせて行ないました。



防災訓練(左:火災想定場所へ進入する消防隊員、右:訓練後の講評)

### PCB試運転物の搬入を開始

4月13日(木)から施設へ試運転に使うPCB試運転物の搬入が始まりました。

JESCOより入門許可を受けた収集運搬事業者により、漏れ防止型金属容器内に収められたコンデンサ(蓄電器)は、定められた要領に従って運搬車から受入コンベヤへフォークリフトで移送され、受入検査室でPCB油の漏洩がないか確認した後、受入荷捌き棚へ入庫されました。



漏れ防止型金属容器を受入コンベヤで受入検査室へ移送(西棟受入室)

### 試運転の状況について

官庁検査が完了の後、試運転を開始しました。模擬試験物のトランス(変圧器)やコンデンサを使用して、総合調整試験(設備毎の機能確認)、プラント全体機能確認試験(予備性能確認)、緊急停止機能試験(設備が安全に緊急停止できることを確認)と段階的に進めました。5月上旬からはPCB試運転物のトランスやコンデンサ等を使用してプラント全体機能確認試験(第1次性能確認)を実施しています。

試運転を通じて処理済み物が確実に処理されていること、排気処理設備からの排気が管理目標値を確実に達成していること、作業環境の管理目標値を確実に達成していること等を確認しています。



真空加熱分離装置で処理後のコンデンサ(西棟真空加熱分離処理室)

## 東西移送の開始

施設が東西2棟に分かれているため、PCBを含む液や溶媒等を専用容器に入れ、東西間を専用の移送車両で輸送します。5月25日(木)には真空加熱分離装置で分離回収したPCBを含む液を西棟から東棟へ初めて移送しました。専用容器は密閉性、強度が確保された国連(UN)規格容器を使用し、東西間の移送時は車両出入口で警備員による安全誘導を行っています



東西移送

## 大阪市環境事業局による廃掃法に基づく使用前検査の実施について

廃棄物処理法に基づく使用前検査が、2月27日以降、試運転の試験段階毎に大阪市環境事業局の担当者により実施されています。

これは、当該施設が申請書どおりの設置状況や設計内容であることや処理機能を有していることを、実地に検査するもので、担当者の立会のもとに、試運転を実施しています。

## 平成17年度の環境現況調査結果について

平成17年度の事業地周辺の環境現況調査結果は、次のとおりです。この調査は、操業前の環境現況調査として、大気中のPCB及びダイオキシン類濃度を把握するもので、平成18年度以降も定期的な環境モニタリング調査の一環として実施します。

(測定結果：春・夏・秋・冬 四季の年平均)

項目	単位	事業地西側	事業地南側	環境保全目標値
PCB濃度	ng/m <sup>3</sup>	0.80	0.55	500
ダイオキシン類濃度	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	0.068	0.050	0.6

## 全国安全週間への取り組み

7月1日～7日は全国安全週間です。6月はその準備月間として、6月1日に安全大会を実施しました。全国安全週間のスローガンを掲げ、全作業員の参加のもと、気持ちを新たに安全文化を確立することを確認しました。

その他にも行事の計画に基づいて、産業医による熱中症予防の教育や特別パトロールなどのポスター、垂幕の掲示、全国安全週間のバッジの配布等の取り組みをしています。



安全大会

### 施工者からの一言

建屋の周りではアスファルト舗装や植栽工事を行っています。また建屋内では、3月から試運転が本格化し、5月からはPCB試運転物を用いた試運転を開始しています。今後も決められた手順、要領を守りながら一つの作業を確実に、着実に、安全に行ない試運転を進めていきます。

今後とも安全、確実にPCB廃棄物を処理する施設を完成すべく力を合わせて頑張りますのでご協力よろしくお願い致します。



植栽工事



発注者 日本環境安全事業株式会社  
(連絡先) 大阪事業所 06-6468-0575  
【営業】 06-6575-5575

施工者 三井造船-大阪事業異工種建設工事共同企業体  
(連絡先) 三井造船(株)大阪PCB工事事務所  
06-6462-5140